



式には(左から)八巻さん、遠藤さん(後ろは妹の心都さん)、鈴木さんが出席。学ぶ姿勢、見習いたいですね。

元気アップポイント事業 4の方が50ポイントを達成

3月18日、交流センター「ふれ愛館」で、『いいたて元気アップポイント事業表彰式』が行われました。元気アップポイントは、生涯学習事業への参加や図書貸し出しの際に付与されるポイントで、獲得ポイントは家族単位で合算することもできます。表彰は50ポイント以上を獲得した方が対象で、今年度は、八巻静枝さん(草野)、鈴木みつ子さん(深谷)、遠藤実結さん(いいたて希望の里学園)、佐藤チヨ子さん(前田)の4人が表彰を受けました。式では、表彰状と共に記念品として、道の駅までい館の商品券5,000円分が贈られました。



県内15店舗目で、福島市からの遠隔地に出店するのは初めてです。人材の募集や育成も行っていきます。

株式会社ハシドラッグと 出店基本協定を締結

村は、3月19日、株式会社ハシドラッグ(福島市)と『出店基本協定』を締結しました。村は令和5年4月に同社と『飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定』を締結しており、この協定を基に出店に係る協議を行ってきました。締結式で、橋浦希一代表取締役社長(写真右)は、「村民の皆様の生活向上に役立つよう、また、飯館村の素晴らしい魅力を伝えられるよう力を尽くしたい。村外の店舗でも村の農産物を販売したい」と熱い想いを語りました。村も買い物環境の向上やなりわいの創出に今後も力を尽くしていきます。



居合わせた子ども達は、それぞれ好きな遊びを楽しみながら、年齢の垣根なく交流していました。

子育て支援センターを開放 思い思いの遊びを楽しんで

3月23日・24日に、飯館村子育て支援センターを開放しました。1月に続く2回目の開放です。同センターは、子ども達と子育て家庭のためにつくられた施設。震災による開所延期を経て、昨秋からイベントや相談会に活用しています。開放日の施設利用は、0歳の乳児から小学6年生までを対象とし、保護者同伴で自由に遊んでいただきました。訪れた子ども達は、木製の大型滑り台やボールプール、遊具、絵本、お絵描き、工作、ボードゲームなど、好きな遊びを存分に楽しんでいました。

世代を超えた交流を創出 スノースポーツ体験

2月25日、あだたら高原スキー場(二本松市)で、『スキー・スノーボード体験教室』を開催しました。主催は、村と「いいたてスポーツクラブ」。対象は村民及びその関係者で、小学4年生以上、中学生、一般から参加者を募集し、スキーに9人、スノーボードに12人の、合わせて21人が参加しました。講師は「いいたてスキークラブ」とスキー場のインストラクターの皆さんが務めました。参加者は、子どもも大人も世代を問わず交流を深めながら、ゲレンデの上でスノースポーツを思い思いに楽しみました。



かつては「スキー教室」として行っていた冬の恒例イベント。初心者でも楽しく体験することができます。

村を探訪!通算6度目の開催 『飯館YOITOKO発見!ツアー』

3月10日に実施した『飯館YOITOKO発見!ツアー』。山津見神社ではオオカミ天井絵を観ながら美術ライター・橋本麻里さんの講演「日本画における動物描写の歴史」を。佐須集会所では宮城県村田町歴史みらい館・石黒伸一郎館長の講演「東北のオオカミ信仰」を聴講し地域の皆さんとも交流しました。昼食は「氣まぐれ茶屋ちえこ」にて、凍み大根・凍み豆腐・凍み餅の「3凍み」や行者ニンニクの天ぷらなど、早春の飯館の味を堪能。参加者は充実した表情で「歴史などを知ることができ有意義だった」「家族を連れてまた訪れたい」と話していました。



関東や宮城県を中心に31人が参加して、春を迎えつつある飯館を満喫。写真は最後に訪れた「作見の井戸」。

飯館村男女共同参画講演会

『Story with a fragrance』フレグランス=香り

3月13日、セラピストでフレグランスコーディネーターの山野辺喜子さんを講師に迎え、男女共同参画講演会『Story with a fragrance セルフケアで心と身体を整える』を交流センター「ふれ愛館」で開催しました。山野辺さんは自身のアレルギー改善をきっかけにアロマセラピー・食事療法などを学び、さまざまな出会いを通じて一歩ずつ道を拓き、オリジナルブランド「fragrance yes」の立ち上げに至っています。その道のりを丁寧に語って参加者を惹きつけました。また、質問を受けて会場と対話を深め、参加者からは共感の声も相次ぎました。



(上)村内外から訪れた約30人が聴講した講演会。(左)続いて山野辺さんのワークショップも開催。